

最も高いお方の守りの内に住む人は、全能者の影の内にとどまる。

私は YAHWEH に申す。― わが砦、わが城、わが神、わたしは彼を信頼する。―

なぜなら、彼はなんじを捕鳥者の罟と破滅的な黒死病からお救いくださる。

彼の振り動きによってなんじを覆い、なんじは彼の翼の下で難を逃れる。

彼の忠実さは、盾と堤防である。

なんじは、夜の恐怖、昼間に發する矢、暗闇で動く黒死病、昼に滅びをもたらす

伝染病、これを恐れることがない。

なんじのそばで何千人が、なんじの右側で一万人が倒れる。― なんじには及ばない。

なんじはそれを目で見るのみ。そして、なんじは、神を求めない者どもが受ける報復も見届ける。

なぜなら、なんじは言った。― YAHWEH がわが砦。―

なんじは、最も高いお方を自らの住まいに据えた。

ゆえに、なんじは いかなる 不幸 にも出会わない。

そして、いかなる災いも なんじの住まいには近づかない。

なぜなら、彼は、なんじのために、そして、なんじの全ての道においてなんじを守るためにご自分の天使を遣わされる。

そして、なんじの足が石に突き当たることはないように、彼らは手の上でなんじを抱く。

なんじは ライオンとハビを踏み、若いライオンとハビを踏みひく。

― 彼がわれに頼るため、われが彼を救おう。

彼がわれの名を親しむため、われが彼を守ろう。

彼はわれに呼びかける。われは彼に答える。

彼の苦しみの時にわれが彼とともにある。

われは彼を自由の身にし、彼に誉れを与える。

われは長い人生で彼を満たし、わが癒しを彼に見させる。―